

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	男 配当数時	女 配当数時
A・体育つくり運動【男女両性】 【知識及び技能】体はびくの運動では、ラジオ体操などの手軽な運動を行い、心と体をいっしょに鍛えたい。生活活動における身体活動の大切さを伝え、健康の保持増進を図るための体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間との課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 teamwork によって自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合うこととする。一人一人の意に沿った動ききなど大切にしようとするこゝろで、話し合いに貢献しようとするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・ラジオ体操 ・50m、1000m走、1500m走 ・アイズブレイク ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、定期的・計画的に運動を継続することとは、身体的健康や体の機能を高めるために必要となる運動があること、準備運動とストレッチングが重要であり、集団で行われる運動を行うときを通じて、促すたけに関わり合えることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】健康や安全や安全を確保するために、体育や授業に応じた運動の計画を立て取り組むことができる。また、体力の程度や性別等の違いに応じて、仲間とも休んで一緒に運動を楽しむための活動の方法や修正方法を自分たちで行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 teamwork によって自主的に取り組む。一人一人の意に沿った動ききなどを大切にしようとして仲間同様に意見を伝えあふたり、互いに助け合い教え合うことができるようになる。	○	○	○	4	4	
B・図画・技術【男子】 【知識及び技能】回転車や巧技車の基本的な技術を滑らかに安定して行うことができ、条件を変えた技術や競技を行ったり自分自身の作製を構築し演習することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】様々な自己や仲間の課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、フナアプライを大切にしようとするこゝろで、仲間だてについて話合いに貢献しようとするこゝろで、一人一人の意に沿ったプレイを大切にしようとするこゝろで、互いに助け合い教え合うこととするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・前転、後転、開脚前転、開脚後転、側転、ロンドート 等の基本的な転び ・倒立、倒立前転、ハンドスプリング、バックス 等の技 ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、自分の動きや動作の動き方进行分析することは、自己観察や他人を観察する方法があることや技に関連させた補助運動や学習効果を取り入れることにより、結果的にパフォーマンスを向上させることができる。技種では、保ちつつも相手に視線を奪取し回りの方向を回り、回転を止めるときの動き方で、基本的技の一連の動きをスムーズに安定させていることと開始姿勢や終末姿勢、支那の方角組合せの動きなどの条件に合わせて転ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】選択した技に必要な準備運動や自分が取る補助運動を速くとか仲間やグループでの相対的な役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の評価をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、仲間と意見を伝えあひら補助したりして、互いに助け合い教え合うことができるようになる。	○	○	○	6	6	
C・ゴール型 バasketボール【男子】 素人関人と社会と授業を分けている体系的のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】安定したボール操作や空間を作りだすなどの動きによってゴールへ入射から成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】攻守双方の自己や仲間の課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、フナアプライを大切にしようとするこゝろで、仲間だてについて話合いに貢献しようとするこゝろで、一人一人の意に沿ったプレイを大切にしようとするこゝろで、互いに助け合い教え合うこととするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的なパス ・ドリブル ・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、競技の各型の各種目において用いられた技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けたためのポイントがあること、技種では、ゴール前に広い空間を作り出すために、守備を引きつけてゴールから離れることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り練習をし勝敗を受け入れたりする場面でも、よりよいマナーや行為については、自己の活動を振り返ることや技種の学習効果を踏まえて、自己に適した「みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、相手手番を導くなどのフナアプライを大切にしようとするこゝろで仲間だてについての話合いに貢献しようとするこゝろである。	○	○	○	8	8	
D・ネット型 パレーボール【女子】 素人関人と社会と授業を分けている体系的のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】安定したボール操作や空間を作りだすなどの動きによってゴールへ入射から成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】攻守双方の自己や仲間の課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、フナアプライを大切にしようとするこゝろで、仲間だてについて話合いに貢献しようとするこゝろで、一人一人の意に沿ったプレイを大切にしようとするこゝろで、互いに助け合い教え合うこととするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的なパス ・スパイク ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、競技の各型の各種目において用いられた技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けたためのポイントがあること、技種では、ボールを相手のコートに入る場所まで打って返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り練習をし勝敗を受け入れたりする場面でも、よりよいマナーや行為については、自己の活動を振り返ることや技種の学習効果を踏まえて、自己に適した「みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、相手手番を導くなどのフナアプライを大切にしようとするこゝろで仲間だてについての話合いに貢献しようとするこゝろである。	○	○	○	8	8	
E・ミニサッカー【男子】 素人関人と社会と授業を分けている体系的のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】安定したボール操作や空間を作りだすなどの動きによってゴールへ入射から成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】攻守双方の自己や仲間の課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、フナアプライを大切にしようとするこゝろで、仲間だてについて話合いに貢献しようとするこゝろで、一人一人の意に沿ったプレイを大切にしようとするこゝろで、互いに助け合い教え合うこととするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的なパス ・ドリブル ・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、競技の各型の各種目において用いられた技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けたためのポイントがあること、技種では、ゴール前に広い空間を作り出すために、守備を引きつけてゴールから離れることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り練習をし勝敗を受け入れたりする場面でも、よりよいマナーや行為については、自己の活動を振り返ることや技種の学習効果を踏まえて、自己に適した「みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、相手手番を導くなどのフナアプライを大切にしようとするこゝろで仲間だてについての話合いに貢献しようとするこゝろである。	○	○	○	0	8	
F・ベースボール型 キャッチボール【男子】 素人関人と社会と授業を分けている体系的のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】安定したボール操作や空間を作りだすなどの動きによってゴールへ入射から成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】攻守双方の自己や仲間の課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、フナアプライを大切にしようとするこゝろで、仲間だてについて話合いに貢献しようとするこゝろで、一人一人の意に沿ったプレイを大切にしようとするこゝろで、互いに助け合い教え合うこととするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的なキャッチボール ・捕球の仕方 ・キック ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、野球の各型の各種目において用いられた技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けたためのポイントがあること、技種では、ボールの高さやコースなどタイミングを合わせてボールをとることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り練習をし勝敗を受け入れたりする場面でも、よりよいマナーや行為については、自己の活動を振り返ることや技種の学習効果を踏まえて、自己に適した「みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、相手手番を導くなどのフナアプライを大切にしようとするこゝろで仲間だてについての話合いに貢献しようとするこゝろである。	○	○	○	0	8	
G・水泳【男女両性】記録の向上や競争の楽しさや喜びを感じ、技術の名前ややり方、体力の強化、運動経験の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 泳法に主体的に取り組むとともに、泳法を大切にしようとするこゝろで、仲間だてについて話合いに貢献しようとするこゝろで、一人一人の意に沿ったプレイを大切にしようとするこゝろで、互いに助け合い教え合うこととするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・クロール ・平泳ぎ ・救命の方法(着衣泳等) ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、水の各名目を用いた技術や戦術の名称があり、それぞれの技術は、特定の状況下でのポイントがあること、技種では、タートルは、肩を水面下に沈め水をもらえ、加減できるようにかくごくと、平泳ぎは、手足前後大きく揺られ後に持ち上げ、加速させながら順に進み込み、脱出を繰り返すことでゆっくりと水中前進できる。 【思考力、判断力、表現力等】選択した泳法について、自己や仲間の活動を分析して、良い点や修正点を指摘することができる。また、水の浮遊能力を高めて自己に適した「みる、考える、知る」などの生活になくて来ないような関わり方を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 泳法の学習に主体的に取り組み、一人一人の意に沿った泳法経験を大切にしようとするこゝろで泳法の事故防止の心を遵守し、危険の予測しながら泳ぎ行動をとなと、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	2	4	
H・水泳【男女両性】記録の向上や競争の楽しさや喜びを感じ、技術の名前ややり方、体力の強化、運動経験の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を見直し、合理的な解決に向けて適切な取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 泳法に主体的に取り組むとともに、泳法を大切にしようとするこゝろで、仲間だてについて話合いに貢献しようとするこゝろで、一人一人の意に沿ったプレイを大切にしようとするこゝろで、互いに助け合い教え合うこととするこゝろで健康・安全を確保することができるようにする。	・クロール ・平泳ぎ ・救命の方法(着衣泳等) ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、水の各名目を用いた技術や戦術の名称があり、それぞれの技術は、特定の状況下でのポイントがあること、技種では、タートルは、肩を水面下に沈め水をもらえ、加減できるようにかくごくと、平泳ぎは、手足前後大きく揺られ後に持ち上げ、加速させながら順に進み込み、脱出を繰り返すことでゆっくりと水中前進できる。 【思考力、判断力、表現力等】選択した泳法について、自己や仲間の活動を分析して、良い点や修正点を指摘することができる。また、水の浮遊能力を高めて自己に適した「みる、考える、知る」などの生活になくて来ないような関わり方を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 泳法の学習に主体的に取り組み、一人一人の意に沿った泳法経験を大切にしようとするこゝろで泳法の事故防止の心を遵守し、危険の予測しながら泳ぎ行動をとなと、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	4	4	

2
学
期[illegible]

ド・ネット環境 パーソル・用【男子】 審判員と社会と授業を分けていて体育のため、通年を通して同じ授業を４コース 【知識及び技能】 役所に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動作などについて習得した内容を授業で活用することにより、適切な解決に向けて運動の振り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えと他人とを伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとするなど、互いに助け合いを高め合うようになることなど、健康・安全を確保することができるようになる。	基本的なパス ・基本的なキック ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】 知識では、競技の各型の各項目において用いられる技術や戦術、作戦は名称があり、それらを身に付けた後のポイントがあること、技術では、ボールの動きやコースの想定やタイミングを把握しボールを相手選手より取り返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競い合い勝利敗戦を受け入れる場面でも、よりよいチームや行為について、自己の活動を取り返すことや作戦などの話合いの場面でも、合意形成するための関わりを見付け、仲間に伝えることができ、競技の学習意欲を高めると、自己に導いた「する、みる、考える、知る」などの活動を通して、変化したものの関わり方を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にするようになると作戦などについての話合いに貢献しようとするようになる。	○ ○ ○ 8
ド・ネット環境 キャンパス用【女子】 審判員と社会と授業を分けていて体育のため、通年を通して同じ授業を４コース 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と状況に応じた行動などについて習得した内容を授業で活用することにより、適切な解決に向けて運動の振り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えと他人とを伝えることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとするなど、互いに助け合いを高め合うようになることなど、健康・安全を確保することができるようになる。	基本的なキック ・基本的なキック ・ボールの捕球の仕方 ・キック ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】 知識では、競技の各型の各項目において用いられる技術や戦術、作戦は名称があり、それらを身に付けた後のポイントがあること、技術では、ボールの動きやコースの想定やタイミングを把握しボールを相手選手より取り返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競い合い勝利敗戦を受け入れる場面でも、よりよいチームや行為について、自己の活動を取り返すことや作戦などの話合いの場面でも、合意形成するための関わりを見付け、仲間に伝えることができ、競技の学習意欲を高めると、自己に導いた「する、みる、考える、知る」などの活動を通して、変化したものの関わり方を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にするようになると作戦などについての話合いに貢献しようとするようになる。	○ ○ ○ 8
ド・ネット環境 卓球【女子】 審判員と社会と授業を分けていて体育のため、通年を通して同じ授業を４コース 【知識及び技能】 役所に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動作などについて習得した内容を授業で活用することにより、適切な解決に向けて運動の振り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えと他人とを伝えることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとするなど、互いに助け合いを高め合うようになることなど、健康・安全を確保することができるようになる。	基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】 知識では、競技の各型の各項目において用いられる技術や戦術、作戦は名称があり、それらを身に付けた後のポイントがあること、技術では、ボールを相手選手のコースの想定やタイミングを把握しボールを相手選手より取り返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競い合い勝利敗戦を受け入れる場面でも、よりよいチームや行為について、自己の活動を取り返すことや作戦などの話合いの場面でも、合意形成するための関わりを見付け、仲間に伝えることができ、競技の学習意欲を高めると、自己に導いた「する、みる、考える、知る」などの活動を通して、変化したものの関わり方を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技の学習に主体的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にするようになると作戦などについての話合いに貢献しようとするようになる。	○ ○ ○ 0 8
			合計 105 10